

富山市地域公共交通網形成計画に係る令和4年度実施事業について

公共交通の活性化に向けた基本方針における交通施策について

本計画の各基本方針における、令和4年度の主な交通施策の取り組みは、次の通りである。

1. 基本方針① 公共交通軸の活性化によるコンパクトなまちづくりの実現

(1) 鉄軌道活性化計画

1) JR高山本線の増便、新たな取組の実施

事業主体：西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：利用者が多く、増便の効果が高い時間帯の増便（40本／日のうち5本／日）運行を継続して行うとともに、公共交通の利用促進と中心市街地の活性化を図るため、高齢者向け運賃施策実証実験を実施する。

また、市では、高山本線の利用実態を把握するため、駅周辺の日々の人流をAIカメラにより計測する。

(参考) 高山本線ブラッシュアップ会議（R3.3.30 設立）

市、県及び西日本旅客鉄道(株)の三者で、持続可能な公共交通の実現に向けた更なる利便性の向上方策等についての議論を進めている。

2) あいの風とやま鉄道線の新改札の設置等による機能強化

事業主体：あいの風とやま鉄道(株)・富山市

内 容：平成28年9月に市街化編入した呉羽駅北側地区での住居系を主とする開発により、今後、駅周辺居住者の増加が見込まれることから、駅利用者の利便性向上を図るため、呉羽駅北口改札設置工事を行う。



(2) 幹線バス活性化計画

1) WEB上での経路検索情報の提供

事業主体：富山地方鉄道㈱・富山県・富山市

内 容：富山地方鉄道㈱と市が、標準フォーマットに基づきオープンデータ化したバス情報を、県が取りまとめて乗継検索サイトに提供することで、複数の検索サイトで利用が可能となっており、引き続きこれらのデータ更新を行う。

2) パーク&バスライド、サイクル&バスライド

事業主体：富山市・富山地方鉄道㈱

内 容：バスの利用圏域の拡大を図るため、バス停周辺に整備したパーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の利用啓発を行う。

3) 交通によるおもてなし環境の創出（グリーンスローモビリティ運行事業）

事業主体：富山市

内 容：富山駅北地区の賑わいの創出や、公共交通空白地域における新たな移動手段としての導入可能性の検討のため、低速で安全な「グリーンスローモビリティ」（電動で、時速 20 km未満で公道を走行するモビリティ）を引き続き運行する。



2. 基本方針② 地域特性に応じた多様な生活交通の確保

(1) 生活交通サービス整備方針

1) 公営コミュニティバス等の効率的な運行

事業主体：富山市

内 容：民間の交通事業ではカバーできない地域において、市が運行主体となり公営バスや乗合タクシーを運行することにより、公共交通空白地域の解消や市民の日常の足となる生活交通の確保に努める。
併せて、ニーズに合わせた更なる効率的な運行について検討する。

2) 地域自主運行バスの導入支援

事業主体：富山市

内 容：地域等が主体となって運行するバス事業に対して、運行費の補助、バス車両の無償貸与等の支援を行う。

3) 生活バス路線（民間赤字路線）の維持

事業主体：国・富山県・富山市

内 容：市民生活にとって重要な生活バス路線は、国・県・市が連携して引き続き支援を行い、路線の維持に努める。

4) A I オンデマンド交通等の導入検討

事業主体：富山市

内 容：コミュニティバスの運行状況や利用状況の検証を行い、将来を見据えたコミュニティバスのあり方やアクションプランを策定するとともに、A I オンデマンド交通等の導入について検討する。

3. 基本方針③ 公共交通利用促進

(1) モビリティ・マネジメントの計画的実施

1) 多様な場面・手法での情報発信（とやまレールライフ・プロジェクト）

事業主体：富山市

内 容：マスメディア、情報誌やインターネット環境を活用するとともに、各種イベント等の機会も捉え、市民に向けて広く公共交通の利用促進について情報を発信する。

2) 多様な主体に応じた情報提供（駅・バス停別の利用促進啓発活動）

事業主体：交通事業者・富山市

内 容：特定の駅やバス停に特化した時刻表・マップ等の利用啓発ツールを使用し、戸別訪問やアンケートによる利用啓発活動を、交通事業者と市が連携して実施する。

3) 将来世代に対する公共交通への意識啓発（のりもの語り教育）

事業主体：富山市

内 容：小学校3～6年生の社会科や総合的な学習の時間における、交通環境学習「のりもの語り教育」の実施を推進する。



(2) ICカードの多様な活用

1) 公共交通機関相互の接続性の向上（全国交通系ICカードシステムの導入）

事業主体：富山地方鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：来街者に対する利便性の向上や富山駅の交通結節機能強化、キャッシュレス化の推進を図るため、路面電車に全国交通系ICカードが利用可能となるよう新たな運賃決済システムを令和3年10月10日から導入しており、引き続きシステムの維持管理を行う。

2021 10.10 [SUN] 地鉄市内電車でご利用可能な交通系ICカードが増えます!

ご利用可能な全国交通系ICカード (市内電車内・地鉄駅口ではカード販売・チャージは行っておりませんので、ご了承ください。)

ICOCA	Kitaca	Suica	PASMO	manaca (マナカ)
TOICA	PiTaPa	はやかけん	nimoca	SUGOCA

ご利用料金がお得な富山のICカード

ecomyca	passca	おでかけ定期券	競輪専用カード
---------	--------	---------	---------

カードリーダーの設置位置

全国交通系ICカード | 扉横にあります。

えこまいか・パスカ | 運転士横にあります。

運賃 (市内電車全線均一)

	大人 (中学生以上)	小 人
現金・IC	210円	110円
えこまいか・パスカ	180円	90円

※富山地鉄が運行する鉄道線や競輪バスでは、全国交通系ICカードはご利用できません。
 ※ecomyca, passcaはこれまで通りご利用いただけます。
 ※ecomyca, passcaは他エリアではご利用できません。

(3) ICT を活用した公共交通機関のロケーション情報などの配信

事業主体：富山県地域公共交通情報提供推進協議会

内 容：渋滞（特に降雪期）などで定時性の確保が困難なバスを安心して待つことができるよう、県内全域の民営バスと公営バスを網羅したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行う。